

20016 現代社会思想 Modern Social Thought		1 年次～ 前期 2 単位			
担当者	滝田 薫	履修可能学科	E Pe Pc C W F N		
		関 連 資 格	教職 (W)		
サブタイトル	現代社会と人間について考える				
授業内容 ・ ねらい	現代社会の全体像について、大づかみに把握することを目指します。社会思想にとっての問題は、結局、個人の自律性と社会（集団）の共同性をどう両立させるか、その条件と課題を考えることです。ほとんど公共的な関心をもたず、自閉し、孤立する学生の姿が目立つ昨今、さまざまな条件や制約の中で、人がどう生きているか、どう考えているか、眼を開く機会を提供したいと思います。本講義は、その意味で、現代社会論であると同時に、現代に生きるわれわれ自身の自画像を描く場でもあります。まず、人間の心、内面について考えることをきっかけとして、徐々に視野を拡げ、外側、環境（自然環境、社会環境、文化環境）の具体的な在り様にまで、学生諸君の知的関心を引き出す、そんな講義にしたいと考えています。				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1 5 回の講義が予定され、その最初の 3 回ぐらいは入門講座です。大学の 4 年間でどう過ごすか、基本的な情報を確認しておく必要があります。次に現代に生きる人間の内面世界について、さらに自分自身について、考えてもらいます。その上で、人間の組織と集団、社会と国家、法と道徳、といった問題を扱います。講義後半で、思想、哲学を少し齧れるでしょう。 第 1 回 序論 この講義の狙い 第 2 回 序論 現代社会と人間 第 3 回 序論 理論 哲学 思想 イデオロギー 第 4 回 自己について </td> <td style="vertical-align: top;"> 第 5 回 他者について 第 6 回 物語について 第 7 回 共同幻想と集団 第 8 回 組織と人間 第 9 回 差別について 第 10 回 コミュニティーと共同 第 11 回 国家とグローバリズム 第 12 回 法と道徳 第 13 回 人権と権力 第 14 回 西欧近代社会の思想と哲学 第 15 回 まとめ </td> </tr> </table>			1 5 回の講義が予定され、その最初の 3 回ぐらいは入門講座です。大学の 4 年間でどう過ごすか、基本的な情報を確認しておく必要があります。次に現代に生きる人間の内面世界について、さらに自分自身について、考えてもらいます。その上で、人間の組織と集団、社会と国家、法と道徳、といった問題を扱います。講義後半で、思想、哲学を少し齧れるでしょう。 第 1 回 序論 この講義の狙い 第 2 回 序論 現代社会と人間 第 3 回 序論 理論 哲学 思想 イデオロギー 第 4 回 自己について	第 5 回 他者について 第 6 回 物語について 第 7 回 共同幻想と集団 第 8 回 組織と人間 第 9 回 差別について 第 10 回 コミュニティーと共同 第 11 回 国家とグローバリズム 第 12 回 法と道徳 第 13 回 人権と権力 第 14 回 西欧近代社会の思想と哲学 第 15 回 まとめ
1 5 回の講義が予定され、その最初の 3 回ぐらいは入門講座です。大学の 4 年間でどう過ごすか、基本的な情報を確認しておく必要があります。次に現代に生きる人間の内面世界について、さらに自分自身について、考えてもらいます。その上で、人間の組織と集団、社会と国家、法と道徳、といった問題を扱います。講義後半で、思想、哲学を少し齧れるでしょう。 第 1 回 序論 この講義の狙い 第 2 回 序論 現代社会と人間 第 3 回 序論 理論 哲学 思想 イデオロギー 第 4 回 自己について	第 5 回 他者について 第 6 回 物語について 第 7 回 共同幻想と集団 第 8 回 組織と人間 第 9 回 差別について 第 10 回 コミュニティーと共同 第 11 回 国家とグローバリズム 第 12 回 法と道徳 第 13 回 人権と権力 第 14 回 西欧近代社会の思想と哲学 第 15 回 まとめ				
教科書 参考書	教科書はありません。プリントを配布します。活字に弱いと自覚している学生諸君には、『岩波ジュニア新書』に好著があります。是非、読んでください。				
評価方法	毎回、質問票の提出の形式で出欠をとります。良い質問は、期末の論文考査の成績に加味します。				
事前準備学習 履修条件等	一方的な講義ではなく、学生諸君からの質問に答える機会を大事にします。				